

# 九州伝承遺産シンポジウムin熊本参加申込書

平成19年7月15日(日)

第1部14:00～ [PSオランジュリ] / 第2部16:30～ [新町・古町地区]

第3部20:00～ [ホテルサンルート熊本・・会費¥3,000(ビアガーデン交流会)]

申込はFAXのみでお受けします  
下表にご記入の上右の番号にFAXしてください

▶ 096-326-6612

※下欄に○を入れて参加の  
意志を表明して下さい

	(ふりがな) 氏名	連絡先	参加に○		
			第1部	第2部	第3部
1	( )	電話番号 FAX番号			
2	( )	電話番号 FAX番号			
3	( )	電話番号 FAX番号			
4	( )	電話番号 FAX番号			
5	( )	電話番号 FAX番号			

## ① 兵庫屋 | 新町3丁目

内部に赤れんがの趣室が2部屋ある。現在は、味噌醤油店「兵庫屋」倉庫として利用。「立寄り処」新町の中心的存在。



## ② 吉田松花堂 | 新町4丁目

この辺り一帯は明治10年の西南の役で焼失した。その直後にこの建物も建てられたものと思われる。電車通り側の武家屋敷の顔とバス通り側の町家の顔を持つ。伝承薬・諸毒消丸を今も製造販売されている。



## ③ 長崎次郎書店 | 新町4丁目

昭和3年竣工。当時のスター建築家・保岡勝也の設計。店主が神田の富山房(戦災で焼失)を気に入り、保岡氏に設計を依頼。



## ④ 西村邸(旧清永新宅) | 西唐人町

大正6年竣工。道路に面して倉庫、坪井川に面して住宅が建てられている。当時の大工の高度な技術を物語る造作が内部の随所に見られる。両側の重厚な赤レンガ防火壁も特徴。



## ⑤ ピュアリイ | 中唐人町

平入りの伝統的町家をオーガニックショップとして活用。船着場跡の地下レストランは、人景の交流スポット。隣接する「リストラ塩胡椒」も景



## ⑥ ピーエスオランジュリ | 中唐人町

「リベラルな大正建築」長谷川克 / 「冠を乗せた銀行建築」村橋久昭 談。赤れんがの外壁+鉄筋コンクリートの屋根(冠)と柱。坪井川に架かる明十橋とともに唐人町の顔となっている。



第1部会場

## ⑦ 鈴木邸(旧中村小児科医院) | 魚屋町3丁目

大正3年建築の木造2階建ての洋風建築。電車通りから魚屋町の小路に入ると左手にこの建物のめずらしい屋根が見えてくる。この時代の洋館の医院の様子を今に伝える貴重な文化財である。景観形成建造物



## 会場案内と street-car

市電停留所ご案内



## ⑧ 森本表具店 | 鍛冶屋町



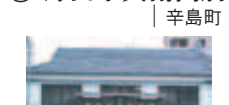
典型的な町家の様式を残す貴重な建物/明治19年の建築。揚げ縁(バッテリー床机)、ミセの間、通り庭、くぐり戸付きの大戸、節形式の板戸など随所に近世町家の特徴が見られる。景観形成建造物

## ⑨ 後藤商店 | 辛島町



洋風を取り入れた土蔵造りの大商家。表正面や2階客室は洋風で、庭を取り囲む裏側は和風。大正9年4月完成。後の市電開通の際に後ろへ4間ほど曳屋。景観形成建造物

## ⑩ 野田市兵衛商店 | 辛島町



現在地における最初のしょうゆ店は明治40年代につくられた。昭和の戦後になって店の機能が大きく変わった後も建物の主体構造や外観がそっくり残されている。

## ⑮ : 第3部会場 ホテルサンルート熊本



現存するわが国最古の写真館のひとつ。夏目漱石や小泉八雲の写真原版など貴重な資料や機材が残る。登録文化財

## ⑦ 三井住友銀行熊本支店 | 魚屋町2丁目



市電の開通から間もない昭和9年に建築された。かつて熊本では勸業銀行、富士銀行とともに飾り柱の柱頭でギリシャ様式の名称がささやかれていた [ここはコリント様式]。アーチのデザインは、銀行特有の重々しさよりむしろ、軽やか。

## ⑨ 早野ビル | 練兵町

熊本最初の貸しビル。NHK熊本中央放送局が城見町に完成するまで創立事務所が入居。2・3階を通した窓回り、4階及び塔屋の窓後に、外壁の柱型に施された装飾が初期の事務所ビルの特徴をよく表わしている。登録文化財